



北見西ロータリークラブ会報

2023～2024年度クラブテーマ

《さあ、親睦の絆を胸に新しいはじまりを》

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)
 ☎23-2251
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分
 ■事務局 ☎25-2824

■会長 齊藤伸一郎 ■会長エレクト 西村 清一
 ■副会長 松井 順仁 ■幹事 伊東 一志



世界に希望を生み出そう

第2500地区ガバナーテーマ

「今こそ変わる勇気を！ さあ、一步前へ」

第2457回例会

2023年9月14日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

基本的教育と識字率向上月間に因んで・ゲスト卓話「ディスレクシアについて」


北海道教育庁 オホーツク教育局教育支援課 義務教育指導班 特別支援教育スーパーバイザー 指導主事 海富 崇嘉氏 青少年奉仕委員会

第2456回 例会記録

2023/9/8

会長挨拶

北見西RC 齊藤会長

天気  (例会時) 最高気温 29℃

本日は、北見3RC合同例会におこしいただき、誠にありがとうございます。限られた時間で、例会の後にも合同の懇親会があります。会場監督のもと、慎重かつスムーズな進行を心掛けたいと思います。特に鶴見ガバナーの肝いりで、例会中に意見交換の場を設けております、先ほどの会長幹事会では、何でも聞いてくださいとおっしゃっていただきました。そして懇親会の場でも何でも意見をいただけると嬉しいとも言っていました。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

トラウトサーモンのタルタル
トースト添え

刺身

鱈の薄造り ポン酢ジュレ 秋野菜を添えて
 海老と季節野菜の紹興酒炒め
 豚肩ロースのロティ ガーリックソース
 うなぎの俵ごはん
 デザート

プログラム

3RC合同ガバナー公式訪問例会

当番クラブ：北見西RC 会長・監事

● 3RCガバナー公式訪問例会

ガバナー入場

点 鐘 齊藤会長 (北見西RC)

国歌斉唱並びにロータリーソング斉唱

会長挨拶 齊藤会長 (北見西RC)

米山奨学生奨学金贈呈

バナー交換 (北見3RC)

ガバナー講話 鶴見誠一郎ガバナー

意見交換会

謝 辞 齊藤会長 (北見西RC)

● 3RC合同懇親会

挨拶 河口高ガバナー補佐

乾 杯 中山会長 (北見東RC)

余 興 マジックショー・じゃんけん大会

手に手つないで ソングリーダー 紺野会員 (北見西RC)

締 め 田巻会長 (北見RC)

ガバナー退場



基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間



ロータリアンのみなさまこんにちは。私、紋別港RC所属、本年度ガバナーを仰せつかりました鶴見誠一郎と申します。宜しくお願ひいたします。私に与えられた時間の許す限りお話しをさせていただきたいと思ひます。

私の気持ち、想いをお伝えいたします、諸先輩方へRCを創立し、また発展させてくださいました諸先輩方、そして今日までRCをお守りくださった諸先輩方に、厚く御礼を申し上げます、ありがとうございます。

そしてまた、本日お集まりのみなさまにおかれましては、私が本年度地区ガバナーを務めさせていただきますこと、本日公式訪問例会の場を設けていただきましたことも併せて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

例年と違う切り口で、お話しをさせていただきます、本年度RI会長の方から、「継続性」というお話しがよく出てきます、継続するための変化ということでお話しをさせていただきます。

継続性をもたらすには、慣例や慣行に考慮しつつ、発想を転換してみるということが必要となってきます、私はみなさんと一緒になって考えさせていただきたいと思ひます。例年と違う内容の一つクラブ協議会についてお話しさせていただきます。

■クラブ協議会について

例年、公式訪問例会の時にクラブ協議会を行ってきたわけですが、しかしながらその方法は、実は私共の地区がしてきた独自の進め方です、他の地区ではどうかと調べましたところ、また、同期ガバナーにもヒアリングしてみたところ、日本全国34地区のほとんどが前年度の内にガバナー補佐予定者の方の進行をもって、前年度の内にクラブ協議会を完了しているというのが実はスタンダードな方法と言えます。しかしながら私共の地区に関しましては、色々な経緯等がありまして、公式訪問の時にクラブ協議会をやっていたということになります。それでは、他の地区に足並みを揃えただけなのかというと、そうではありません、公式訪問ですが、私共の地区では7月から10月の初旬の約3カ月あります、クラブ協議会を実施し終わらせるというのは一つの要素としては、新年度を迎える準備を終わらせるという趣旨も含まれています、そうした中で7月の初旬に何うクラブ様と9月の下旬に何うクラブ様では、クラブ協議会の終了、新年度を迎える準備を終わらせるというのが、2カ月半差が生じるということになります。そうしますと同じ地区内のクラブであるのに、新年度を迎えるスタートラインも二カ月半の差が生じるということになります。それはいかがなものかと私は思いました。やはり同じ地区内の65クラブが一斉に7月1日に新年度を迎えるということが、適切と思ったわけでございます。

そうした中で今年度は、この方法を採用させていただきました。では次年度はどうかというお話しでございますが、次年度以降につきましても、次々年度につきましても、今年度の方式を採用するというお話しを聞いています。しばらくはこの方式のスケジュールで進めさせていただきたいと思っております。ではなぜ本日、意見交換会を設けたのかということですが、私が今お話しさせていただいているお時間、公的な立場として、公的なお話ししかできないと思われる時間帯でございます。それが一方的にお伝えするだけではクラブのみなさまに、受け入れられないだろうと思ひ、非公式な時間を作らせていただきまして、非公式なお話しもしたい。ロータリーに対してざっくばらんなお話しをしたいということで、意見交換会という時間を設けさせていただきました。

■本題のお話の前にロータリーに対する周りのマイナスなイメージ

会員増強につながるお話しですが、ロータリーといったときに、金持ちの道楽、うまいものを食べて、敷居は高い・・・等、私は聞いたことがあります、しかしまったくそんなことはありません。周りはまったくわかってないのです、そこで真のロータリーと伝えなければと思ひます。

本年度のRI会長のゴードン・R・マッキナリー会長は「世界に希望を生み出そう」、コロナロシアのウクライナ侵攻等により世界が疲れ切っている、不幸の中に陥っている。この状況から一刻も早く脱却しなければいけない、それに必要なものはと考えた時に、それを希望と考えられこのテーマを決めたということをお聞きしております。

そこで、私の方もスローガンを、決めさせていただきました。「今こそ変わる勇気！さあ、一歩前へ」ということです。

変わるという言葉を使うときは、通常前の事を否定して、後の事を肯定する時に使われることが多いです。そうすると今までのロータリーが良くなかったのか？地区の運営が良くなかったか？と思う人もいるかと思ひますが、決してそうではありません。未来のために何かを変える必要があります、そこには変化というものが必要になると考えたわけでありませぬ。

同時に、方針についても決めさせていただきました。行動することに意味がある、私は7月10日から公式訪問例会をスタートさせていただきましたが、その前に生まれ持って初めて心理学の本を読み

あさりました。どういうことかという、公式訪問で色々な方と色々な話をする、そうすると人間を知らないといけないと思いました。そこに共通に記載をされている内容は、人間は新しい事をする時、もしくは真剣に何かをする時に実はマイナスイメージからスタートするというものでした。そこで最初から駄目だと決めつけずに、様々な事をプラス思考に考えていただき、時には発想を転換し、自分を信じてまずは行動していただきたい。一歩前へという思い入れを含めさせていただいた方針でございます。

去年の11月に、ガバナーエレクト事務所から全ての地区のクラブ様に、クラブについて教えてくださいという事で、ヒアリングシートにご回答していただきました。そこで回答していただきました内容、また河口ガバナー補佐の方から事前に、みなさまのところにお伺いして、お話しをしていたそのレポートを、反映し作らせていただきました資料でございます。

北見市地域の強みを教えてください、「農業、漁業、カーリング」と教えていただきました、こういったものを地域の強みを活かして更なる発展を目指したロータリーのクラブ興しができないだろうか？というお話しをさせていただきたいと思えます。クラブの特徴、特性、長所、取組等を継続的に情報の発信をし続けていただけないでしょうか。地元が優先でございます。地元を中心にロータリーの楽しさをお伝えいただけるような行事等をやっていただければ、色々な機会を探り第一歩を踏み出したいと思えます。

より多くの人にロータリーを知って欲しい、知らないといけないと思えます、それにはまず一番はロータリアンである皆さんが輝いていなくてははいけない。地域のため、そして世界のためのロータリアンであるということをお願いしたい。

私達が今、地域や世界に対して貢献しているということ、そして今後も貢献し続けるということを知っていただく必要があると思えます。今いらっしゃる皆さんは地域を支えたいという凄いな力をお持ちです、奉仕の理想に集い私達、地域の経済人、選ばれし者が集結している、今ここに凄いな力が集結しているということを再認識していただきたいと思えます。

そして地域の住民がロータリーを体感するということが必要だと思えます。行事やイベントでロータリーのブース等を設けていただいて、ロータリーにおける色々なものを展示していただく、そこに来場者がきて体感するという空間を作ってもらいたい。

私達ロータリーを理解してもらい、仲間を増やしたい、そのような時には一緒にやろうという想いを率直にお伝えしていただきたいと思えます。格好をつける必要はございません。率直に自分の気持ちを伝えるということが大事だと思えます。クラブ興しには必要なのではないのでしょうか。

みんなのためのロータリーでもあります、周囲のためのロータリー。しかし、会員である皆さんがとことん楽しむということも忘れないでいただきたい。自分のため、自分達のためのロータリーでもあると思えるようになっていただきたい。自分が好きなようなことを思うようにやっていただきたい、そして色々なことを考えていただきたい。チームワークを強化して仲間意識を生み出していただきたい。成功を分かち合う事で一体感を生み出していただきたい、テーマや目標を設定すると効果的です。例会などに色々な方を招聘していただく、興味深い話題や、スキルの習得を通じて、活動の楽しさを増強していただきたい。そして、なんといたっても笑いと言語というのを忘れないでいただきたいと思えます。

私の立場上、どうしても会員の維持・出席率向上・会員増強にお話しを触れなければなりません。ただ正面を切って出席率・会員増強をして欲しいと言ってもなかなか、人口減の日本の中で、ハードルは高いように思えます。従いまして気持ち的に無理のない範囲内で、でもその限られた範囲内で最大のアクションを起こしていただきたいと思えます。

会員にニーズ、会員のお声を聴いていただいて、クラブへ反映するという事で、満足度、参加意欲が高められると思えます。メンターシップを提供するという事で、自クラブ、他クラブ問わず経験豊かな先輩会員による日常的な温かいフォローを行う。この2点については、居心地の良いクラブを目指し、会員の維持に繋がると思えます。

また、多様性で様々な例会を考えていただきたい、慣例や慣行だけにとらわれない会員が出席しやすい例会方法の検討をする。女性と若い職業人の入会促進、クラブに若い会員や女性がいることを知ってもらうことで、入会への関心が高まるという報告もしております。これは、出席しやすい魅力あるクラブ創りだと思えます。

この結果として、入会の促進、会員の増強へ結びつけていただけると、考えているしだいでございます。

■地域の方がロータリーに求めている事をピックアップしてまいりました。

- ・地域の清掃活動にロータリーが協力・・・共同体の結束を高めるとい意味合いでも。
- ・地域のイベントのサポート・・・地域の特色にあったイベントのサポート。
- ・高齢者支援・・・高齢者の話し相手として寄り添い、地域のつながりを強化。
- ・地域の歴史-文化の保存・・・地域の歴史や文化を保護し、後世に伝える活動を行う。

- ・子ども支援・・・子どもたちの成長を支えるため、学習支援などを行う。
- ・環境保護活動・・・植樹活動や野鳥観察会、リサイクルキャンペーンなど実施。
- ・災害対策と防災教育・・・災害対策のワークショップや防災訓練を実施する。
- ・フードバンクや寄付活動・・・食品の提供や必要な物資を寄付する活動を行い、支援する。

■DEIについてお話しをさせていただきます

最近のロータリーはヨコ文字が多くて解らないとお叱りを受けます昨年よりDEI推進委員会というのが地区にもうけられました、DEI推進委員長より承諾を得て、私の見解をお伝えさせていただきます。

DEIの解釈と言い換え

D：多様性 自分が理解し、今まで受け入れてきた範囲を広げてみましょう（自身のストライクゾーンの拡大）

E：公平さ 同じものを提供するのではなく、必要なものを、必要としている人に、必要な分だけ提供できるよう考えてみましょう

I：包摂性 仲間として受け入れる（思いやり）

私達、日本人にたいしてしっくる表現は、目配り・気配り・心配りだと私は思います。

■青少年の育成について

ローターアクトクラブは2500地区全体で支援を、地区内すべてのクラブ様に賛同を得たい一方で、昨今の青少年への接し方に注意が必要です、近年の青少年は敏感で、時に大胆な行動にでる時があります。

～セクハラと勘違いされない言動を～

～パワハラと勘違いされない言動を～

行事やごとに何かあった時のための救済方法として保険加入をするなども一つの安心、安全を追求する意味では必要だと思います。

■分区と地区との連携

定期的にクラブ様の状況をお知らせ頂きます。

私の年度につきましては2～3ヶ月ごとにクラブ様ヒアリングをして、最近または現在どのような活動をしておられるか、またお困りの事が無いか等を確認させて頂きたいと思っておりますのでぜひご協力をお願いします。

共同に取り組むこともクラブ奉仕サポート委員会を今年度から設けております。ヒアリング結果によりまして助言させて頂く、また一緒に解決に取り組むことを検討したいと考えています。

■ご寄付に対する私の考え

よく耳にするお話寄付は志だから任意、してもしなくても良いな、ロータリー財団は金集めのことばかり考えてる。

私は、ちょっと違うと思います。

志だからこそロータリアンとして前向きに考える、寄付という言葉だから抵抗がある、支援という表現に置き換えれば。

奉仕の理想に集いし友よ、直接奉仕が難しければ、直接奉仕できる者に託し、その活動費の支援するのも奉仕一つだと思います。

■皆様へお知らせ

ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）～毎年1,000ドルの支援をご誓約

ポリオ・プラス・ソサエティ（PPS）～毎年100ドルの支援をご誓約

ローター財団の認証に加算されますので、ぜひご支援ください。

■国際ロータリー理事会決定事項

「研修」という名称は、「ラーニング」へ、「リーダー」という名称は、「ファシリテーター」へと変更となりますので、次年度からの組織表に導入ください。次年度の活動計画書の作成の際には、ご注意ください。

私に与えられた時間の中で、講話というレベルには程遠いのですが、これからも皆様と一緒に私の活動にも終わりはなく、地区内のクラブ会員の皆様にも、素晴らしいロータリーライフをお過ごしいただくため、今年度だけではなく次年度以降も一緒に取り組んで参りたいとそう思っております。一生懸命働かせていただきたいと思います。引き続き、宜しく願いいたします。



